博士前期課程（修士） / 健康看護学領域 / 地域・精神・保健学分野
科目コード：220009-0

# 地域看護展開実習 Practice to develop community health activities

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 塚田 久恵、阿部 智恵子、曽根 志穂、金子 紀子、室野 奈緒子、盛島 幸子 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 開講年次 | 2年次前期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 実習 |
| 必修・選択 | 選択 | 時間数 | 90 | | |
| Keywords | | | | | |
| 学習目的・目標 | 学習目的：<br>地域で暮らす人々の健康と生活を豊かに守り支えることが保健師の役割であることを再認識し、行政保健師としての卓越した実践力を身に着けるための準備を行う。すなわち、保健師の活動の原型を理解し、卓越した保健師活動の実践に必要な能力の目標像を明確化する。<br>学習目標：<br>1.離島・僻地などの生活様式の比較的均一な地域で、地区の歴史的文脈と対応させながら過去から現在に至る保健医療福祉施策の展開を総体的に理解する。<br>2.保健福祉に関する地区活動を見学または実行することを通じて、地区診断を試み、活動の展開方法を学修し、施策との関連を考察する。<br>3.事例や事業を通じて個人・家族・地域単位での支援の方法について学習する。 | | | | |

授業計画・内容

| 回 | 内容 | 授業方法 | 場所 | 担当 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション/実習計画の作成 | 講義<br>演習 | 大学 | 塚田・阿部・曽根・金子・室野 |
| 2～4<br>（前半） | 臨地実習（人口規模の小さな離島）<br>（1）臨地でのオリエンテーション<br>（2）高齢者家庭訪問を体験し、この地域での現在の住民の生活や担当保健師の考えおよび実践方法を事例に重ねて理解する。<br>（3）複数の家庭訪問体験（10事例程度を予定）を通じて地域保健活動や地域福祉活動の歴史的意義や果たしてきた役割、それを地域全体に広げる方法を理解する。<br>（4）地域で長年保健活動をしてきた保健師から地区の歴史的文脈と対応させながら過去から現在に至る保健医療福祉施策を聞き取り理解する。<br>実習地全体の踏査、及び特徴的な勝度をしている地域でも重点的な見学と聞き取りを行い地区診断の準備を行う。 | 実習 | 実習施設<br>及び<br>実習施設<br>の所在する地域 | 塚田・阿部・曽根・金子・室野<br>（以上初日のみ）<br>及び盛島 |
| 5 | 中間カンファレンス | プレゼン及び討議 | 現地の実習施設 | 塚田・阿部・曽根・金子・室野・盛島 |
| 6-9<br>（後半） | 臨地実習（前半と同じ離島）<br>（1）家庭訪問を継続して相談支援能力をを高める。<br>（2）地域住民の中からキーパーソンの紹介を受け、離島での生活や保健師に対する期待等を直接聞き取り、保健師のなすべき役割についての認識を深める。<br>（3）実習地の資料の閲覧や経験を通じて地区診断を行い、その的確性を長年この地域で暮らす人々と意見交換する。 | 実習 | | 盛島 |
| 10 | カンファレンス | プレゼン及び討議 | 現地の実習施設 | 塚田・阿部・曽根・金子・室野・盛島 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | なし |
| 参考図書等 | Anderson ET & Mcfarlane JM: Theory and Practice in Nursing. Philaderphia. Lippincott. 2004<br>その他、適宜紹介する |
| 評価指標 | 実習日数が7割以上であること。家庭訪問を10例前後行うこと。<br>日々の実習記録や課題に対するプレゼンテーションの内容が80点以上であること(100点満点)<br>上記に加えて実習に対する積極性を総合的に判断して評価する。 |
| 関連科目 | 地域看護学特論、地域看護診断・展開特論 |
| 教員から学生へのメッセージ | |